

平成29年度 芦別市予算概要

平成29年度は、市長就任以降間もないことから、投資的経費を中心とした政策予算を除く骨格予算として、行政の継続性の観点から市民生活や地域経済、雇用確保への影響等に配慮しながら年間予算を編成したところであります。

一般会計の予算総額は、105億200万円となり、前年度当初予算との対比では、1,300万円、0.1%の減少となり前年度を下回る結果となりました。

歳出においては、経常費が100億1,425万4千円（構成比95.4%）で、臨時福祉給付金の給付事務に要する経費、芦別市介護保険事業特別会計に対する繰出金、長期債償還利子などが減少する一方、寄付者に対する感謝特典報償費や、子どものための教育・保育給付費負担金、企業振興奨励金などの増加により、前年度当初予算対比で1億2,433万4千円、1.3%の増加となりました。

事業費は4億8,774万6千円（構成比4.6%）で、球技場芝生整備工事、頼城多目的研修センター改修工事、三角橋架替工事の事業などが増加する一方、デジタル式防災行政無線整備工事、滝川地区広域消防事務組合負担金、道の駅整備工事の事業などが減少したことにより、前年度対比で1億3,733万4千円、22.0%の減少となる見込みとなりました。

歳入においては、市税が14億7,660万円で、市民税（個人）の課税者の増加や軽自動車税の重課該当車両の増加等により、前年度当初

予算対比 2 3 6 万 8 千円の増加、寄附金が 3 億円で、ふるさと納税に係る前年度の寄附状況を勘案して、前年度当初予算対比 2 億 9, 4 6 4 万円の大幅な増加を見込みました。

また、歳入の 4 割強を占める地方交付税は、4 8 億 8 5 6 万 3 千円を見込んでおり、このうち、普通交付税は 4 0 億 5, 8 5 6 万 3 千円で、前年度当初予算対比では 8, 1 5 6 万 3 千円、2. 1 % の増加となりますが、平成 2 9 年度地方財政計画における地方交付税の見通し等を勘案した結果、前年度交付決定額対比では 1 億 3, 2 7 6 万 5 千円、3. 2 % の減少となりました。

更に臨時財政対策債は、前年度当初予算対比 4 0 0 万円、1. 4 % 増加の 2 億 8, 8 0 0 万円を見込んでおり、これを含む実質的な地方交付税額は、5 0 億 9, 6 5 6 万 3 千円を見込みました。

なお、歳入が歳出に対して不足する 1 億 2, 2 4 6 万 2 千円の財源については財政調整基金を繰り入れ、収支の均衡を図りました。